2022年度　世界展開力強化事業
太平洋島嶼地域特定課題研修プログラム
【沖縄短期派遣・受入研修オンラインプログラム】募集要項

"Global Leadership for Island SDGs"
University of the Ryukyus Online Intensive Study Program in 2022

本研修の目的は、琉球大学世界展開力強化事業が推進する、太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーを育成することである。具体的には、異文化理解、SDGs運用能力、そして個々のリーダーシップ探求を具体的な学修成果として掲げる。研修では、本事業において連携を結ぶ、太平洋島嶼地域の大学に在学する学部学生を沖縄に受け入れ、歴史、文化、環境など広い観点から、太平洋島嶼地域に共通する地域課題について学ぶ。また最終課題発表として、SDGs (Sustainable Development Goals)に関連するテーマを学生自らが選び、文献学習や講義、沖縄でのフィールド活動を通して、広く沖縄について学ぶ場を提供する。

並行して、本学に在学する学生（留学生を含む）もプログラム派遣学生としてプログラムを履修し、外国人学生との国際共修を行うことによって、所定の単位を付与する。

プログラムの事前研修として、COIL（Collaborative Online International Learning）型授業を活用する。受入外国人と本学派遣学生の間でオンライン交流機会を設け、事前学習課題に取り組むことにより、SDGsに関する探求テーマの設定や、太平洋島嶼地域に関連する共通課題についての協働学習の機会を提供する。また、事前事後に行われる参加学生の内的成長を測定するBEVI（Beliefs, Events, and Values Inventory）アセスメントや事後アンケート調査を参加学生に受けてもらい、研修プログラムの学修効果やプログラムの有用性を客観的に評価する。

現時点での日本国政府による水際対策強化に係る入国制限状況を踏まえ、本プログラムはオンラインで実施する。

１　プログラム実施期間（案）

2022年7月11(月)～7月15（金）の５日間（オリエンテーション、修了式を含む）

２　対象者

本学学生

プログラム実施時に本学に在学している（休学等をしていない）正規学部学生１年次～４年次

受入外国人学生（海外連携大学）

プログラム実施時に、連携大学に在学している（休学等をしていない）正規学部学生および短期大学生１年次～４年次。(2022年5月、8月卒業予定者を除く)

受入募集対象の大学

下記の世界展開力強化事業対象の連携大学

ハワイ大学９校（マノア校、マウイ校、カウアイ校、ヒロ校、カピオラニコミュニティカレッジ、ハワイコミュニティカレッジ、ホノルルコミュニティカレッジ、リーワードコミュニティカレッジ、ウィンドワードコミュニティカレッジ)、グアム大学、パラオ地域短期大学、ミクロネシア連邦短期大学、マーシャル諸島短期大学

３　参加人数

本学派遣学生は１０名程度受入外国人学生も１０名程度とする。

※応募学生が４名に満たない場合は、本プログラムにおける協働学修が行えないため本プログラムを中止する。実施の可否については６月２４日までに通知する。

４　科目及び単位付与

本プログラムの全内容に参加した学生には、「総合特別講義Ｉ（予定)」(太平洋島嶼地域 SDGs 研修)・２単位を付与する。受入外国人学生の本学における在籍身分は特別聴講学生とし、本学派遣学生はグローバル教育支援機構開発室を通じて、集中講義として履修登録する。

５　応募要件

以下（１）～（６）のすべての条件を満たす者。

（１）本学に在学する者、また本学の世界展開力強化事業の連携大学および短期大学に在学する者。

（２）事前・事後学習を含め、全てのプログラムに参加できる者。
※ただし、体調不良など相応の理由があり届出欠席した場合は、教員からの指示があれば適宜補習のレポートを提出すること。

（３）沖縄や太平洋島嶼地域について学ぶことに興味・関心があり、積極的に交流する意欲があり、コミュニケーションを図れる者。語学力は問わない。

（４）派遣・受入プログラム終了後、在籍大学等での学業を継続し、学位を取得する、または卒業を予定している者。
※１　退学・除籍の予定がある者は、要件を満たさない。
※２　プログラム途中に正規の課程を卒業・修了する者は、要件を満たさない。例えばプログラム途中に学士課程を卒業し、引き続き大学院に入学する者も要件を満たさない。

（５）プログラム終了後、何らかの形で本学の世界展開力強化事業における取り組みについて学内外で紹介することや参加協力要請に対し、積極的に貢献する意思のある者。
＊　以前「総合特別講義Ｉ」を履修し、単位取得した学生が本プログラムに参加を希望する場合は、要相談。

（６）日本人学生のみ、プログラム終了後、GTEC４技能テストを受検すること（学内で１年次、3 年次対象に行われる GTEC２技能は別途受検を要する。)

６　プログラム概要

（1）　テーマ

“Engaging with Sustainable Island Future”

（２） カリキュラム構成

事前事後研修及び 5 日間の期間で合計 15 コマ（計 30 時間相当）を講義、個別学習（文献学習、コンテンツ視聴及びフィードバック）、協働学習（派遣学生と受入学生の交流、最終成果報告に向けた協働学習）、交流への参加を通して実施する。

（３） 使用言語

主要言語は英語とする。

（４） プログラム内容

＜事前研修＞

COIL 型手法を用いた事前研修 2 回の全日程に参加し（各週の間に一回程度、日時や時間を各チームで決めて交流を行う）、課題を期限までに提出する。

（１）第１回事前研修 COIL

・BEVI 第１回目受検

・オンラインプラットフォーム（Padlet）にて自己紹介ビデオ投稿（１～２分程度）

・オンラインプラットフォームにてアイスブレイキング（朝食やコロナ禍で体験したこと、学んだことなどの簡単なブログ投稿）を行う

（２）第２回事前研修 COIL

・関心のある SDGs について、出身地域での課題を調べ、実際に課題解決のために取り組んでいる事例について、各自パワーポイント資料 5 枚程度にまとめ、音声付きスライドを作成し、Padlet に投稿する（やり方については資料を確認して各自進める）。

・他の参加者の課題に対して Padlet でコメントをする。

＜メインプログラム（7/11-7/15）＞　次ページに日程表あり

講義は、ライブ（同期型）と非同期のオンデマンド型（ビデオ録画を見て課題を個別に行う）で行う。オンデマンド型の場合は、講義の日程前に視聴することも可能だが、課題はプログラム期間中に提出することとし、プログラムの事前期間での提出は受け付けない。

Real-time lecture: 講師や学生が同期で参加する。質問なども講義時間内で受け付ける。

On-demand: 事前に録画された講義のビデオを見て、課題も自分で時間を見つけてオンラインで行う。

プログラム終了直後に BEVI#2 を全員受けること。

＜事後研修＞

（１） プログラム終了直後、１週間以内に参加者全員プログラムに関する簡単なレポート（様式自由）及びプログラムに関するアンケートを提出すること。

（２） プログラム終了後 2 週間程度を目処に、同期型の事後研修を行う。その際に全員 BEVI#2 の受検を終えていること。

（3）参加者全員、プログラム終了後２～３ヶ月以内にBEVI#３アセスメントを受けること（時期についてはこちらから案内します）。

プログラム予定表（※内容および講義タイトルについて、若干の変更可能性あり）

日程　（日本時間）	内容
事前研修	（1）～（2）の課題を7月10日までに提出する。　（合計4h）
7月11日（月）	オリエンテーション　8:30-8:55 講義1「太平洋島嶼地域の概要とパートナーシップ」（仮）　9:00-10:30（1h30） 講義２「SDGs and JICA Okinawa's Activities」（JICA沖縄センター　研修業務課　飯田鉄二課長）　10:45-12:15（1h30） 最終課題発表に向けたグループ協働学習1（自主学習）（1h） （合計4h30）
7月12日（火）	講義3「島嶼地域のサステナブルな食の未来を目指してー　農水一体型陸上養殖プロジェクト」（琉球大学　羽賀史浩）9:00-10:30（1h30） 講義4　文化交流または日本語講座　10:45-12:15（1h30） 最終課題発表に向けたグループ協働学習２（自主学習）（1h30） （合計5h30）
7月13日（水）	講義5リーダーシップセミナー　9:00-9:50　（1h） 講義6ゲストスピーカーシリーズ1　10:00-11:00　（1h） 最終課題発表に向けたグループ協働学習3（自主時間）（2h） （合計4h）
7月14日（木）	講義7　ゲストスピーカーシリーズ2　9:00-10:30　（1h30） 最終課題発表に向けたグループ協働学習4　10:45-12:15(1h30) （合計3h）
7月15日（金）	最終課題発表に向けたグループ協働学習5 9:00-10:00（1h） SDGs最終課題発表と修了式　10:00-12:00　（2h） （合計3h）
事後研修	プログラム終了後にBEVI#2アセスメントを受け、最終レポート及び事後アンケートを1週間以内に提出する　（2h30） 事後に同期型でBEVIのフィードバック等を行う　（30m） BEVI #3（２～3ヶ月後）を受ける　（30m）　（合計3h30）
	合計学習時間　28h00（各自で行う自習時間はこれに含まない）

7　評価方法

SDGs の課題特定および事前研修で課された課題協働学習	30%
講義等への参加や協働学習課題（解決のための議論、交流課題等）	30%
SDGs 課題解決についてのグループ最終発表	30%
最終課題レポート及び BEVI アセスメント（#1,2）	10%
合計	100%

8　応募方法

応募者は提出期限までに次に掲げる書類を、世界展開力強化事業事務局へ直接メール添付で提出すること（郵送不要）。

（１）　提出書類

①　プログラム応募申込書（英語で記入）

②　同意書

※応募に必要な全ての様式は下記ウェブページからダウンロードしてください。

Web page：https://ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/sekaten/news/

（２）提出期限

2022 年 6 月 20 日（月）（日本時間 17:00）

（３）提出先

琉球大学グローバル教育支援機構開発室（担当：世界展開力強化事業事務局 久手堅）

Email：r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp

※件名を「世界展開力　太平洋島嶼地域特定課題研修プログラム　学籍番号 名前」で提出すること。

（４）プログラム参加決定

応募した学生には、6 月 24 日（金）までにプログラムへの参加についてメールにて通知します。

9　プログラムについての問合せ先

琉球大学グローバル教育支援機構　開発室　（担当：世界展開力強化事業　事務局）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地　共通教育棟 1 号館　グローバル教育支援機構開発室(教育支援課隣)

TEL：098-895-8092

Email：r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp

Web page：https://ged.skr.u-ryukyu.ac.jp/sekaten/